

問7. 足尾の岩山でときおり姿をみせる国の天然記念物に指定されている「ニホンカモシカ」は何科に属する動物でしょうか。

- ① クマ科
- ② ウシ科
- ③ イヌ科
- ④ シカ科

問8. 国の天然記念物に指定されており、ヤギに似た偶蹄類ウシ科に属する高山獣で、険しい岩山の針葉樹林に生息しおとなしい珍獣は次のどの動物でしょう。

- ① ニホンジカ
- ② ヤクシカ
- ③ ニホンカモシカ
- ④ エゾシカ

問9. 足尾の庚申山には、国の特別天然記念物に指定されている小さな食虫植物が6月頃に咲きます。何という花でしょうか。

- ① ウチョウラン
- ② コウシンソウ
- ③ アシオヨウラク
- ④ ハクサンチドリ

問10. 足尾には、「ニホンカモシカ」と「コウシンソウ」の2つの特別天然記念物が存在します。では、このうち「コウシンソウ」は何科の植物でしょう。

- ① コウシンソウ科
- ② タヌキモ科
- ③ ゴマノハグサ科
- ④ ハマウツボ科

問7. の解答と解説 解答…② ウシ科

【解説】

ひづめのあることではシカと同じですが、実はウシ科の動物であり、反すう胃を持つウシ科のうちでも最も進化の遅い原始的な草食動物です。

問8. の解答と解説 解答…③ ニホンカモシカ

【解説】

反すう胃を持つウシ科のうちでも最も進化の遅い原始的な草食動物で、「生きた化石」ともいわれ、1,000m以上の高山に住んでいます。

問9. の解答と解説 解答…② コウシンソウ

【解説】

明治23年(1890)に三好学により栃木県の庚申山で発見され、山の名前をとってコウシンソウと命名されました。食虫植物として捕虫部は葉や花茎で、これらから粘液を分泌し、小さな虫を粘り着けて捕らえ、消化吸収して自らの栄養分としています。

問10. の解答と解説 解答…② タヌキモ科

【解説】

足尾の庚申山に自生するコウシンソウは、タヌキモ科ムシトリスミレ属の食虫植物で、国の植物レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。明治23年(1890)に三好学により足尾の庚申山で発見され、山の名前をとってコウシンソウと命名されました。

問11. 日光国立公園内の足尾地域に庚申山と前後して噴出形成された標高2,144mの「皇海山」がありますが、この山の名称は何と読むでしょうか。

- ① のうみさん ② みかいさん
③ こうかいさん ④ すかいさん

問12. 江戸時代後期に曲亭馬琴（滝沢馬琴）によって著された、南総里見八犬伝に縁のある山はどれでしょうか。

- ① 鳴虫山 ② 太郎山
③ 男体山 ④ 庚申山

問13. 足尾連峰の主峰で渡良瀬川の源流に位置し、日本百名山の一つである山はどれでしょうか。

- ① 庚申山 ② 備前楯山
③ 皇海山 ④ 男体山

問14. 足尾を流れる川は、首都圏の水がめとして大きな役割を担っています。何という川でしょうか。

- ① 大谷川 ② 湯西川
③ 渡良瀬川 ④ 隅田川

自然

問11. の解答と解説 解答…④すかいさん

【解説】

栃木県西部の群馬県境、旧足尾町に位置し、山頂はコニーデ式の標高2,144mの山で、「すかいさん」という奇妙な読み方をします。深田久弥の「日本百名山」の中にも原始的な自然美を保つ山として紹介されています。

問12. の解答と解説 解答…④庚申山

【解説】

庚申山は足尾に位置し、標高は1,892m。馬琴が著した八犬伝では諸国を経て下野国を訪れた犬飼現八が庚申山の麓で犬村大角とめぐり合い、彼の父に化けた妖猫と対峙します。

問13. の解答と解説 解答…③皇海山

【解説】

日光国立公園内の足尾町に庚申山と前後して噴出形成された標高2,144mの「皇海山」は日本百名山の一つに入っています。

問14. の解答と解説 解答…③渡良瀬川

【解説】

流れゆく長さは107.6km、流域面積は約2,601.9km²で群馬県桐生市、栃木県藤岡町、茨城県古河市を流れて「坂東太郎」こと利根川に注ぐ支流でもあります。

問15. 足尾の唐風呂地区だけでできる大根を唐風呂大根と呼んでいますが、その外見上の特徴はどれでしょうか。

- ① 丸い
- ② 全体が黒い
- ③ 首が赤い
- ④ 二股になる

問15. の解答と解説

解答…③首が赤い

【解説】

唐風呂大根は足尾の唐風呂地区でのみで産出する、首（大根の上部）が赤い大根で、この種を他の地区の畑で蒔くと、最初は唐風呂大根の特徴を持った大根ができますが、何代か過ぎるとやがて普通の大根に戻ってしまいます。唐風呂地区では、何代も変わらず、同じ特徴を持った大根ができます。

問16. 足尾銅山の最盛期1890年代には、日本の産銅量約何%を占めるまでになったのでしょうか。

- ① 約20%
- ② 約40%
- ③ 約60%
- ④ 約80%

問17. 足尾銅山での銅産出量も元禄（1700）には最盛期の10分の1にまで衰退してしまい、救済措置としてお金の鑄造が認められました。当時作られたお金は何といわれたのでしょうか。

- ① 本山銭
- ② 日光銭
- ③ 足字銭
- ④ 通洞銭

問18. 大正5年（1916）栃木県統計書によると足尾の人口は37,308人でした。県内では何位だったのでしょうか。

- ① 2位
- ② 5位
- ③ 10位
- ④ 15位

問19. 足尾において、古くから信仰の山として知られる「庚申山」は、ある有名な文学作品の中にも登場しています。その作品は次のうちどれでしょうか。

- ① 日本霊異記
- ② 南総里見八犬伝
- ③ 増鏡
- ④ 宇治拾遺物語

問16. の解答と解説 解答…②約40%

【解説】

古河市兵衛は先進的な技術と設備を取り入れたことにより、足尾銅山の生産が急速に伸び、1890年代には日本の40%の銅を産出するまでに至りました。

問17. の解答と解説 解答…③足字銭

【解説】

寛保元年（1741）2月、足尾の銅山師が山元の困窮を救うため山元での鑄銭の許可を願い出て、同年7月から鑄銭が始まりました。寛永通宝の裏に足の字があるので足字銭といわれています。

問18. の解答と解説 解答…①2位

【解説】

栃木県全体現住人口 1,087,019人、1位—宇都宮市 58,735人、2位—足尾町 37,308人、3位—足利市 31,647人です。栃木県統計書(大正5年)より。

問19. の解答と解説 解答…②南総里見八犬伝

【解説】

『南総里見八犬伝』は、江戸後期の戯作者、滝沢馬琴の作であります。文化11年（1814）に刊行が開始され、28年をかけて天保13年（1842）に完結した全98巻、106冊の大作です。この中で足尾の庚申山は、妖猫退治の件で登場します。

問20. 足尾銅山の坑道は、町のほぼ中央部に位置する山の中を縦横無尽に巡らされています。この山は、慶長15年（1610）に2人の農民が鉱脈の路頭を発見したことから、彼らの出身地にちなんで名づけられました。それは次のうちどれでしょうか。

- ① 備前楯山
- ② 羽後楯山
- ③ 陸中楯山
- ④ 筑後楯山

問21. 足尾銅山での鉱夫の作業は鉱塵や有毒ガスのためヨロケと呼ばれた職業病に冒されるものも多くいました。このため、相互扶助組織が自然発生的に生まれましたが、その制度とは何と呼ばれたでしょうか。

- ① 鉱夫労働組合
- ② 友子制度
- ③ 鉱山組合
- ④ 労働至誠会

問20. の解答と解説

解答…① 備前楯山

【解説】

足尾銅山は、一説にはに慶長 15 年 (1610) 備前国 (岡山県) の農民である、「治部 (じぶ)」と「内蔵 (くら)」が発見したといわれています。その後、銅山の経営が古河市兵衛の手に移ってから足尾銅山は発展を遂げ、備前楯山の中に掘られた坑道の総延長は 1,234km に達し、これは実に東京と福岡間の距離に匹敵します。

問21. の解答と解説

解答…② 友子制度

【解説】

地下数百メートルで働く鉱夫の作業は常に崩落の危険と隣り合わせであり、鉱塵や有毒ガスのためヨロケと呼ばれる職業病に冒される者も多くなりました。このため、友子制度といわれる相互扶助組織が自然発生的に生まれました。

参考資料

日光市史／いまいち市史／藤原町史／栗山村誌／足尾郷土誌
日光パーフェクトガイド／杉並木物語
今市市制施行 50 周年記念誌「道」
栃木の日光街道「荘厳なる聖地への道」
今市なんでも百選ガイドブック／今市のむらの歩
今市市の文化財／栃木県観光統計／青果物生産流通統計
奥日光の湿原／知られざる日光／栃木県大百科事典
上撰の旅日光・那須・栃木／藤原町の文化財
藤原町の歴史と文化／藤原町のおもしろ地名
藤原町史通史編／藤原町ポケットガイド
足尾町勢要覧／日光道中と那須野ヶ原
平家落人伝説の里「栗山村物語」／湯西川のざっとむかし
ホームページ・パンフレット等

(注) 日光検定公式問題集の作成にあたっては、平成 20 年 11 月 10 日現在までに出版されている図書等を参考として引用しております。

印刷・製本 (有)高橋平版社

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。
定価はカバーに表示してあります。

日光検定

2008年11月10日 初版発行

企画・編集

日光検定実行委員会・日光検定運営委員会

〒321-1262 栃木県日光市平ヶ崎 200-1

TEL 0288-30-1171 / FAX 0288-30-1172

製作協力

日光市

日光東照宮

日光山輪王寺

日光二荒山神社

日光市歴史民俗資料館

日光観光協会

今市観光協会

鬼怒川・川治温泉観光協会

湯西川・川俣・奥鬼怒温泉観光協会

足尾観光協会

日光商工会議所

同 青年部・女性会

足尾町商工会

日光検定実行委員会

日光商工会議所

今市事務所 〒321-1262 栃木県日光市平ヶ崎200番地1

日光事務所 〒321-1422 栃木県日光市宝殿66番地1

鬼怒川事務所 〒321-2522 栃木県日光市鬼怒川温泉大原1406番地1

定価 1,500 円 (税込)